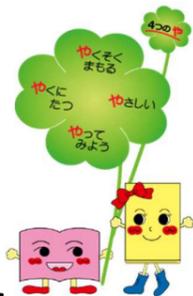


図書館だより

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
第 85 号 令和 4 年(2022) 9 月 7 日



～ 爽やかな秋風をお届け ～

館長 由良 芳子

8月7日の立秋を経て、すでに1ヶ月経ちましたが、年々「秋」の到来が遅くなっているように感じます。熱中症とコロナ対策の厳しい夏でしたが、皆様お変わりございませんか。爽やかな秋風をお届けしたいと、色づき始めた公園の様子と読者の方々からのお声をご紹介します。



千葉県我孫子市の伊藤紀久子さんより。「図書館だより 84 号の、2 歳のみつき君、何度見てもいいですね。カメラアングルがいい。…『お気に入り…』コーナーから。山崎豊子さんすごい方ですね。『約束の海』を読みます！ また、『パパからの宿題』のお嬢さんの回答が素晴らしいです。…」

堺市東区の今井真知子さんより。「パワーアップした図書館だより届きました。わたしの“推し”“コンクール楽しそう。”

堺市南区の広瀬久美子さんより。「…脳裏に残る一枚の写真『二歳児のみつきくん』。二歳の幼児の背中には多くを語っていますね。この堂々とした姿は夏の清涼剤であり、大きな感動を以って私たちに問いかけるものがあります。4 つのや図書館の存在価値を顕示するに十分だと思います。…」

このように、図書館へ来られなくても、図書館の様子や活動を感じ取ってのお声を聞かせていただくことで、4 つのやに活気が生まれます。皆さんからのお声をお待ちしています。



☑ - 2022 夏休み期間の、ある日の4つのや図書館 - ☑ ⇒ ⇒ ⇒

コロナ禍以前の夏休み期間には、「夏休みの宿題サポート」として絵画、習字、読書感想文、ドリルなど、8日間ほど、子ども達の応援をしていましたが、残念ながら、ここ3年は実施できていません・・・。

「なかよしや本に夢中の夏の午後」⇒

『わたしのお気に入りの一冊』

⇒ご自分のお気に入りの一冊を紹介しあうコーナーです。
奈良市の笹岡健司さん、和泉市の吉田和代さんからの寄稿です。

書名：『老化は治療できる！』 著者：中西 真 (宝島社新書) 一紹介者：笹岡 健司さん



いつまでも若々しい心と体を維持したい、実際の年齢より若く見られたい、できるだけ長生きしたい、などの願望は、老若男女すべてに共通しているといえます。

この本は「老いの仕組み」を解説しており、細胞分裂せずに増殖をやめてしまった老化細胞が死ぬことなく生き延びることにより、私たちの体は様々な形で老化していくことがわかったということです。そこでこの老化細胞を生き延びさせないで除去することが可能になる薬を導き出し、現在この薬の実用化に向けて研究しており、マウスを使った実験では成功し、実際にがんの治療薬として使われるところまでになっているようです。

老化を当たり前だと受け入れるのではなく、老化は病気の一つであり、防ぐことが可能な疾患の一つに過ぎない。これが当たり前になるような明るい未来を現実のものとしていきたい。と、著者は述べています。

私は、「この病気」を防ぎ、また、治す方法を早く知りたい 84 歳です。

書名：『木曜日にはココアを』 著者：青山 美智子 (宝島社文庫) 一紹介者：吉田 和代さん



ちょっとお洒落な喫茶店「マープル・カフェ」を訪れる人々を巡るハートフルな物語。

毎日、新聞やテレビのニュースで心が折れそうになった時にほっとする一作だ。経営不振のレストランをリストラに遇った青年が偶然入った喫茶店でマスターにそのまま店を任せられ、決まって木曜日に決まった席でココアを注文する女性にほのかに恋心を抱くところから始まる。二話目は、彼女の決まった席に座った別の女性の話。彼女はバリバリ仕事をしているが、家事は夫任せで何もできない。その夫が留守の間息子のお弁当作りに奮闘しながら、家事やママ友にも新しい世界を見つける。三話目は、その息子の通っている幼稚園の先生の話…と、次々と別の主人公の物語が続いていく。どれも、大きな事件が起きるわけでもないが、人生のひとコマを丁寧に描いてほっとするのだ。早速ココアを淹れよう。

歴史探訪研修『天理コース』

3年ぶりに『歴史探訪研修会』を再開します。講師に土肥俊夫先生をお迎えして、天理方面から山辺の道歩くコースです。初秋の風を感じながら、一緒に大和路を歩きませんか？



夜都伎神社 (よとぎじんじや)



石上神宮 (いそのかみじんぐう)

- ☆日時 9月29日(木) 9:10 近鉄難波駅集合
- ☆行程 天理教本部(昼食)一石上神宮 一山の辺の道一内山永久寺跡一峠の茶屋 一夜都伎神社一竹之内環濠集落
- ☆申込
 - ・図書館にある申込用紙にご記入のうえ、ご提出ください。
 - ・メールでも受け付けます。以下の内容をご入力ください。
 - 件名 歴史探訪研修
 - 本文 参加希望
 - お名前・ご住所・お電話番号

☆締切 9月22日(木)

新着本より

9月配架の『まよなかのおしっこ』は、著者であるさいとうしのぶさんからご寄贈いただきました。

本が届いた時は本の選定などの会議中で、封を開けて早速「読んでみて！」と声があがり、スタッフの読み聞かせが始まりました。

すべて関西弁で書かれていて、堺生まれのスタッフはスイスイスラスラと読んでくれましたが、「関西生まれでない人は読み聞かせはできないな…」と密かに思った人もいました。

さいとうしのぶさんによると、「それぞれの土地のことばに変えて読むと、またおもしろさ加わるかも…」とのこと。地域色を出したり、懐かしい方言で読んだり、楽しみ方が広がりますね！

俳句ができたよ・きらり十選 八十五号 兼題「鹿」 令和四年 九月七日

次回(十一月)の兼題は「柿」 または自由 * 投句締切 十月五日(水)

- ・セーラー服鹿にせんべい怖す怖すと
- ・いにしへの歌に詠まれし鹿思ふ
- ・角切りの番待つ鹿の切なき目
- ・足早に鹿の目の中鹿気取り
- ・天平に耳済ます鹿時を越え
- ・颯爽と駆け上る鹿つらやまし
- ・夏休み猫堂々と通学路
- ・滝落つる如き愛しき蝉時雨
- ・山滴るコロボックルの居る気配
- ・母鹿の大きな瞳なに探す

勝子 直子 幹子 勝義 ユウ子 ひとみ 昭義 雅 忍 芳子

2022年9月・10月・11月の開館日時

毎週水・木曜日に開館しています

◎水曜日14時～17時

9月: 7日・14日・21日・28日

10月: 5日・12日・19日・26日

11月: 2日・9日・16日・23日休・30日

◎木曜日10時～17時

(第2・第4木曜日 12時～)

9月: 1日・8日・15日・22日・29日休

10月: 6日・13日・20日・27日

11月: 3日休・10日・17日・24日

2022年度 NPO 会員募集

2022年4月～2023年3月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。ご支援よろしくお願ひします。

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館

◎郵便振込先 00950-9-171544

できるだけATMをご利用ください。

◎楽天銀行 支店番号 253

普通 7225222

協会員 1口 1,000円/年

賛助会員 1口 3,000円/年

正会員 1口 5,000円/年



URL yottunoya-library.com
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地: 〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中1丁103-1(浜寺校区文化会館内) 南海本線諏訪ノ森駅東側線路北へ

連絡・・・《警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。》

2022.9月の新着本より

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。ホームページにも掲載しています。

2022.10月の新着本より

まよなかのおしっこ

さいとうしのぶ

ひとりでトイレに行けるかな？
勇気と自信をあたえてくれる内容です。
絵本にはおばけちゃんがかくれているよ。
ぜんぶ見つけられるかな？



小学館の図鑑 NEO まどあけずかん せかいのりょうり

200種以上の世界の料理や食材を紹介。
100カ所以上あるしかけまどをあけると、
世界中の美味しい料理や食べ方が一目瞭然。
世界各国の定番メニューから、びっくり食材まで幅広く紹介します。



めくりしかけには丈夫な紙を使用。
幼児がめくっても破れにくく、繰り返し使えます。
漢字は一切使用せず、ひらがなとカタカナでわかりやすく解説。

えんどうまめばあさんとそらまめじいさんの

いそがしい毎日

松岡享子/降矢なな



小さな家にえんどうまめばあさんと、そらまめじいさんが仲良く暮らしています。二人ともそれは働き者なのですが、ひとつだけ困ったところがあります。何かをやっている途中でも、他にしたいことを見つけると、すぐにやらないと気が済まないのです。やっていることをほったらかして、次々新しいことを始める二人の顛末をユーモラスに描きます。

くものすおやぶん ほとけのさばき

秋山あゆ子



くものす親分は子分のぴよんきちを連れて、むしの町の見回りをしていると、寺の和尚から盗人が本堂の仏像を運びだそうとしたらしいと相談をうけます。本堂から足跡をたどっていくと地下の押し入れの床に穴が。その夜、あらわれた泥だらけのあやしい連中、はたして盗人の正体とは……？



だんごたべたい おつきさま

すどうあさえ/中谷靖彦

きょうはお月見です。縁側には、おだんごが並んでおいしそう。それをみたお月さま、おたんごが食べたくてしまいました。するとくもが「とってきてあげましょう」。くもくもにんげんにへんしんすると…「あっ、ぼくらのおだんごだよ！」子どもたちに見つかってしまいました。すると…？ 身近な行事に興味を持ちはじめた幼い子どもたちに向けて、日本の伝統をやさしく伝える絵本シリーズ。お月見編。

願いを叶える雑貨店 黄昏堂 桐谷直

地図には載らない。探そうとしても見つからない。幸運で不運な者、不運で幸運な者だけが、黄昏時にたどり着く。
店の名は【黄昏堂】。
欲しいものに貼り付けると自分のものになる「お名前シール」。
幽霊だけが見えるようになる「霊視メガネ」。
相手の心の声が聞こえる「聴心器」。
不思議なアイテムを「記憶」を対価に売り渡す【黄昏堂】に今日も客人が訪れる。

ビタミンF 重松清

38歳、いつの間にか「昔」や「若い頃」といった言葉に抵抗感がなくなった。40歳、中学一年生の息子としっくりいかない。妻の入院中、どう過ごせばいいのやら。36歳、「離婚してもいいけど」、妻が最近そう呟いた……。一時の輝きを失い、人生の「中途半端」な時期に差し掛かった人たちに贈るエール。「また、がんばってみるかー」、心の内で、こっそり呟きたくなる短編七編。直木賞受賞作。(Amazonより)

彼女が最後に見たものは まさきとしか

クリスマスイブの夜、新宿区の空きビルの一階で女性の遺体が発見された……。
彼女はなぜ殺されなければならなかったのか。
彼女はなぜホームレスになったのか。
誰も知らない真実が明らかになる瞬間、世界が一転する。
理不尽な死と家族の崩壊を圧倒的な筆致で描く、大ヒットミステリ『あの日、君は何をした』続編!!!

りぼんちゃん 村上雅郁



りぼんちゃんはさ、オオカミといっしょに暮らしているんだよ
朱理のクラスに転校してきた大きなりぼんの女の子、理緒。
クラスでお子ちゃまあつかいされてきた朱理が理緒のお世話係になり、朱理の世界はあざやかなものへ変わった。
けれど、ある出来事から理緒がかかえていた痛みを、暗闇を、朱理は知ってしまう。
この世にあふれている‘オオカミ’とたたかうには？
朱理が、理緒が出した答えは——？

人はどう死ぬのか 久坂部羊

誰にも訪れる「死」。しかし、実際にどのようにして死んでいくのかを知っている人は少ない。人がどのような末期を迎えるかを知らないと、虐待に等しい終末期医療に苦しみ、悲惨な死を迎えることになりかねない。肉親が迎えたとき、そして自ら死を覚悟したとき、どのような死に方を選べばいいのか。在宅診療医として数々の死を看取った、作家の久坂部羊氏が、人がどのような死を迎えるのかをリアルに描き、安らかな死を迎えるために、私たちが知っておくべきことを解説する。その日に備えて、読んでおきたい「死の教科書」。

ボクの音楽武者修行 小澤征爾

「外国の音楽をやるためには、その音楽の生まれた土地、そこに住んでいる人間をじかに知りたい」という著者が、スクーターでヨーロッパ人旅に向かったのは24歳の時だった……。
ブザンソン国際指揮者コンクール入賞から、カラヤン、バーンスタインに認められてニューヨーク・フィル副指揮者に就任するまでを、ユーモアたっぷりに語った「世界のオザワ」の自伝的エッセイ。(Amazonより)

般若心経、私は歌う 薬師寺寛邦

なぜ世界の著名人は般若心経の魅力にとりつかれたのか。
そして私はなぜ般若心経を歌い続けるのか。

玄奘三蔵法師がインドから持ち帰った「般若心経」。大乘仏教の真髄を説いた276文字の経典。日本では1400年間にわたって歴代天皇や武家、公家、学者から一般庶民の間で慕われ、さまざまな災害や戦争で傷んだ人々のココロを癒してきたのです。
ステイブ・ジョブズやジョン・レノンをはじめ、世界の著名人が般若心経の魅力に気づき、ビジネスや自己啓発、そして作品世界に反映しストレスフリーに活用してきました。ジョン・レノンの名曲「イマジジ」こそ般若心経にインスパイアされた作品だったのです。

西の魔女が死んだ 梨木香歩

二度と再び、まいの世界が元に戻ることはなかった。学校に足が向かなくなった少女が、大好きな祖母から受けた魔女の手ほどき。何事も自分で決めるのが、魔女修行の肝心かなめということだった。喜びも希望も、もちろん幸せも……。

深夜0時の司書見習い 近江泉美

高校生の美原アンが夏休みにホームステイすることになったのは、札幌の郊外に佇む私設図書館、通称「図書屋敷」。不愛想な館主・セージに告げられたルールを破り、アンは真夜中の図書館に迷い込んでしまう。そこは荒廃した裏の世界——“物語の幻影”が彷徨する「図書迷宮」だった！
迷宮の司書を務めることになったアンは「図書館の本を多くの人に読ませ、迷宮を復興する」よう命じられて……!?
美しい自然に囲まれた古屋敷で、自信のない少女の“物語”が色づき始める——。

タブレット・チルドレン 村上しいこ/かわいひろ

GIGA スクール時代到来！
一人一台タブレットの校外学習で、あたえられた課題はなんと「子育て」!?
生徒二人がペアになり、タブレットの中でAI（人工知能）の子どもを育てるといったものだった。
“漫画ラブ乙女”心夏（ここな）と、“孤高の少年”温斗（あつと）のペアがさずかったのは、“超毒舌小学生”マミだった……。

「いいよ、もう。お母さんには無理。」
胸にくさり刺さるマミの言葉。それは、心夏もよく母親に言うセリフだった……。
愛されたい、愛したいのに——AIは容赦なく、ごまかしていた感情をあばく、あいまいな人間関係を揺さぶる！はたして心夏たちの子育てのゆくえは？
母娘のつながりは築けるのか？
村上しいこが描く、今もう、すぐそこにある新次元の教育現場！

夢見る帝国図書館 中島京子

「図書館が主人公の小説を書いてみるってのはどう？」
作家の〈わたし〉は年上の友人・喜和子さんにそう提案され、帝国図書館の歴史をひもとく小説を書き始める。もし、図書館に心があったなら——資金難に悩まされながら必至に蔵書を増やし守ろうとする司書たちの悪戦苦闘を、読書に通ってくる樋口一葉の可憐な佇まいを、友との決別の場に図書館を選んだ宮沢賢治の哀しみを、関東大震災を、避けがたく迫ってくる戦争の気配を、どう見守ってきたのか。
日本で最初の図書館をめぐるエピソードを綴る「図書館に住んでみたいなもんだったんだから」と言う喜和子さんの人生に隠された秘密をたどってゆくことになる。
喜和子さんが少女の頃に一度だけ読んで探していたという幻の絵本「としゃかんのこじ」を探すうち、帝国図書館と喜和子さんの物語はわたしの中で分かち難く結びついていく……。

※掲載している書影、明記のない紹介文は版元ドットコム(<https://www.hanmoto.com>)より引用しています